

湖沼等水質浄化技術分野の進捗状況及び来年度の方針について

1. 平成20年度の事業報告(1) ワーキンググループ (WG) 開催経緯等

20年 11月18日 第1回WG開催
(実証試験中間報告及び意見交換)

21年 2月23日 第2回WG開催
(実証試験結果報告書の検討)

(WG検討員名簿は別紙参照)

(2) 実証試験状況等

実証機関：石川県

(実証対象技術)

- ①炭素繊維を用いた水質浄化技術
- ②あま〜る式電気分解処理装置

2. 来年度の方針

〔課題〕

- ・手数料徴収体制に移行後、実証機関数・申請技術数が減少
- ・実証機関に問い合わせはあるものの、手数料がネックとなり実証申請に至らないケースもある

〔改善策〕

- ・今年度、地方自治体が管理する都市公園内の池の水質浄化に実証済み技術が導入(設置)された事例もあることから、このような導入事例等も紹介しながら実証対象技を募集する。
- ・併せて環境省、実証運営機関等を通じて実機導入事例を湖沼管理者に紹介するなど、ユーザー側が技術導入を検討する際の参考にしよう。

<今後の予定>

- 実証運営機関の選定 (3月下旬)
- 実証機関の公募 (4月)

平成20年度環境技術実証事業検討会
湖沼等水質浄化技術分野ワーキンググループ 検討員名簿

(敬称略)

- ◎岡田 光正 広島大学大学院工学研究科 教授
- 秋葉 道宏 厚生労働省国立保健医療科学院水道工学部 部長
- 今井 剛 山口大学大学院理工学研究科 教授
- 島谷 幸宏 九州大学大学院工学研究院 教授
- 福島 武彦 筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授

◎：座長